

# 令和8年 第2回 愛別町教育委員会 会議録

- 1 招集年月日 令和8年1月14日(水)
- 2 招集場所 愛別町総合センター 第1会議室
- 3 開 会 令和8年1月28日(水) 午後4時55分～

## 4 出席委員

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
委員	三嶋 健嗣	欠	委員	成田 真市	出
委員	菊地美智子	欠	教育長	馬場 信明	出
委員	多羽田裕一	出			

## 5 会議に出席したものの職氏名

教育次長	森 川 儀 彦
主幹	高 橋 留 美
総務・学校教育係長	太 田 温 子
社会教育係長	井 上 雄 太
教育推進アドバイザー	蟹 谷 正 宏

## 6 教育長提出議題

議案第1号 令和8年度学級編成について

議案第2号 愛別町生成AⅠ利活用ガイドラインについて

## 7 議決事項

議案第1号 原案可決

議案第2号 原案可決

## 8 協議・その他

発 言 者	会 議 録 (1)
森川次長	総合教育会議に引き続きよろしくお願いたします。本日の会議は、三嶋委員と菊地委員が欠席です。それでは、教育長よろしくお願いたします。
馬場教育長	総合教育会議に引き続き大変お疲れ様です。学校の方は3学期が始まりまして、順調に進んでいると聞いています。その中で嬉しい話がありまして、中学3年生の岩城君がスキーの全国大会出場を決めました。また、あいべつ校OBの大場さんが昨年に引き続きスキーの世界選手権への出場を決めたとの情報が入ってきています。その一方で昨日から小学校1年生がインフルエンザにより学年閉鎖となり、これから広がらないように気を付けていかなければならないと思います。それでは、ただ今より、第2回愛別町教育委員会議を始めます。本日の会議録署名委員は成田委員です。よろしくお願いたします。前回の会議録がお手元に届いているかと思いますが、お気づきの点等何かありませんか。よろしいでしょうか。
委員	はいの声
馬場教育長	それでは前回の会議録は承認されたことと致します。続きまして、教育長報告に移ります。 (前回の第1回教育委員会議以降の動向について報告) 何か質問等あればお受けします。なければ次に議案審議に移ります。議案第1号「令和8年度学級編制について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
森川次長	(議案第1号の朗読) (議案第1号の説明)
馬場教育長	ただ今、事務局から説明がありましたが、この件につきまして、何かご意見、ご質問等ありましたら、お願いたします。
成田委員	今の説明の小学校の1名減というのは愛別町で1名採用しても1名減となるのか教えてください。
森川次長	(成田委員の質問に対する回答)
馬場教育長	他にありませんか。
多羽田委員	来年度も町で1名教職員を採用して、各学年で単独学級ということなのですが、新1年生の人数が少ないのですぐにはではないと思いますが、複式学級になる可能性もありますよね。
森川次長	資料2ページの表を見ていただきたいと思います。1年生を含む学級は8人で1学級となっていますので、新年度は単独となりますが、令和9年度は複式学級の対象となります。その時の対応をどうするかは今後協議することになります。
馬場教育長	教育を進めていく上で、ある程度的人数、集団がいた方が、色々と教育効果も上がる面もありますので、その辺も踏まえて、学校や子どもたちの実態もありますので、検討して行きたいと思います。これまでの教育の流れとしては複式のカリキュ

発 言 者	会 議 録 (2)
	ラムではなく、単式のカリキュラムを継続していこうという流れで来たんですが、令和9年度は学級集団として考えていかなければならない時になるのではないかと考えています。
多羽田委員	たまたま、私と成田委員は複式学級を経験していますが、今後愛別町も今の規模だと将来的に複式になっていくのかと寂しい気持ちもありますが、複式は複式で楽しく学校に通った経験もあるのでその可能性もあるということですね。
馬場教育長	学級集団として色々な活動をする上で、ある程度の人数がいた方がいいと思いますが、通常の学習については、教科にもよると思うんですけども少人数でも効率よくできるような教科もあると思いますし、逆にある程度の人数がいた方が深まりがある教育ができると思います。
多羽田委員	たしか、授業によっては編成が変わっていたように思います。体育や音楽を一緒にやっていたりだとか、教科によって変わっていた記憶があります。
馬場教育長	私も複式の指導を十数年間経験しています。年数は大分経過していますが複式の良さもあります。
成田委員	予算のつく限りは各学年に先生を配置して、集団で行うものはしっかりと行っていければ良いと思うのでよろしくお願いします。
馬場教育長	皆さんの色々な意見を聞きながら、実態を伝えながら検討していけたらいいなと思います。その他に何かありませんか。
委員	ありませんの声
馬場教育長	それでは、議案第1号については原案のとおり可決することによろしいでしょうか。
委員	はいの声
馬場教育長	ありがとうございます。続きまして、議案第2号に移ります。議案第2号「愛別町生成A   利活用ガイドラインについて」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
森川次長	(議案第2号の朗読)
森川次長	(議案第2号の説明)
馬場教育長	ただ今、事務局から説明がありましたが、この件につきまして、何かご意見、ご質問等ありましたら、お願いいたします。
成田委員	2月1日から運用するということですが、きちんこのガイドラインに沿って利用しているのかチェックすることができるのかどうか、どのように確認するのかお聞きしたいです。
森川次長	あくまでも学校で使用する場合の規定になりますので、学校の教育活動の中で教職員が指導しながら使用しますので、子どもが勝手に使うということはないかと思っています。

発 言 者	会 議 録 (3)
成田委員	以前に中学校で生成AⅠを使った授業を参観した際に、文字を打ち込むだけで手軽にすごい物ができていて、ある意味すごいメリットがあるし、逆にリスクもあると思いますので、どうやってチェックするのかを確認したいです。
森川次長	ガイドラインの第9条に教職員に対して年1回以上研修を実施するとしています。あと、本日はお配りしていませんが、文科省と道で定めているガイドラインとガイドブックでは詳しい内容が記載されていますので、これらを活用しながら進めていこうと考えています。また、このガイドラインを運用していく中で問題等が生じた場合は、必要に応じて内容を改訂していきたいと考えています。
馬場教育長	今後、このガイドラインに沿って運用していきながら、課題等々がでてきたら内容を改善していただくか、教職員に対する研修の機会もありますので、そういう中で確認していくというような方向でいかがでしょうか。
成田委員	わかりました。もう1点、保護者を対象にした研修の機会もあったら、より生成AⅠに対する理解が深まると思いました。
蟹谷教育推進 アドバイザー	このガイドラインは、国内で教育の情報化が進む中で、ICTの活用の一環として、生成AⅠの活用がでてきています。優れた実践例もたくさんある中で、最低でも教職員が教育活動の中で生成AⅠを使える環境を整えるためにこのガイドラインを策定しました。実はこれが認めていただければ次の会議を設定し、この利活用ガイドラインを運用するための会議を行います。そこで、今言われた懸念をお伝えしますので、そういった中でどうやって運用していけばよいのか深く共通理解をしていく必要があるかと思っています。ある程度形になっているのは、児童生徒向けにこれをしてはいけませんよとかこういう使い方をしましょうという資料を用意してあります。使う場合も小学校5年生以上かなと話をしておりますが、その辺の取り決めも後でしっかりと行います。対象となった児童生徒に向けて、この約束事を守りましょうということで、1時間もしくは2時間くらいをかけてしっかりと説明をし、それをご自宅にもって行っていただきます。保護者の皆さんにも参観日等を通じて、その内容を確認していただき、学校ではこうしますので、家庭で使える端末を利用する場合もこれに準じてやってくださいというような注意事項を広く啓発していきますので、心配されることは当然なんですけども、できるだけ心配なことを取り除けるように運用に努めていきたいと思っていますのでご理解ください。
馬場教育長	よろしいでしょうか。
成田委員	わかりました。
馬場教育長	それでは、他に何かありませんか。なければ議案第2号については原案のとおり可決することよろしいでしょうか。
委員	はいの声
馬場教育長	ありがとうございます。以上で本日の議案審議は終了しました。次に協議・その

